

S M B C ・ 日 興 世 銀 債 フ ァ ン ド

(愛称：世界銀行グリーンファンド)

ファンドの概要

設定日 2010年2月19日
償還日 2019年10月21日
決算日 原則毎月20日
収益分配 決算日毎

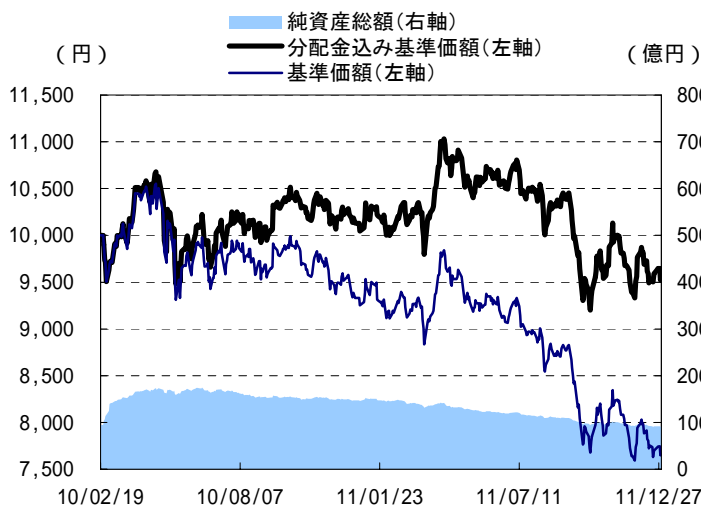
ファンドの特色

1. 相対的に利回りの高い世界銀行債券を中心に投資します。
2. 毎月の安定分配をめざします。
3. 「日興マネー・アカウント・ファンド」とのスイッチング(乗換え)ができます。

運 用 実 績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



基準価額 : 7,659円

純資産総額 : 90.96億円

< 基準価額の騰落率 >

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.21%	0.68%	-10.47%	-5.04%	-	-4.62%

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金込み基準価額の推移は、分配金(税引前)を再投資したものを表示しています。

基準価額は、信託報酬(年率1.255%(税抜1.21%)程度)控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

< 資産構成比率 >

WBグリーンファンド クラスA	99.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%
その他	0.9%

< 分配金実績(税引前) >

設定来合計	直近12期計	11・1・20	11・2・21	11・3・22	11・4・20	11・5・20
2,000円	1,200円	100円	100円	100円	100円	100円
11・6・20	11・7・20	11・8・22	11・9・20	11・10・20	11・11・21	11・12・20
100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円

上記は過去のものであり、将来の収益分配を約束するものではありません。

< 基準価額騰落の要因分解 >

前月末基準価額	7,776円	
当月お支払いした分配金	-100円	
要 因	ブラジルリアル	-17円
	メキシコペソ	-6円
	トルコリラ	-46円
	コロンビアペソ	5円
	南アフリカランド	18円
	ハンガリーフォリント	-9円
	ロシアルーブル	-10円
	オーストラリアドル	10円
	ニュージーランドドル	4円
	ノルウェークローネ	-10円
ガーナセディ	3円	
スウェーデンクローナ	-1円	
債券・その他	42円	
当月末基準価額	7,659円	

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

WBグリーンファンドクラスAのポートフォリオの内容

日興アセットマネジメント ヨーロッパ
リミテッドより提供された情報です。

< 外国通貨別構成比 >

通貨名	比率	うちグリーンボンド
ブラジルレアル	19.7%	12.2%
トルコリラ	15.8%	4.9%
オーストラリアドル	13.5%	12.6%
南アフリカランド	12.5%	12.5%
メキシコペソ	11.9%	9.1%
ニュージーランドドル	5.3%	3.0%
ノルウェークローネ	4.7%	4.3%
コロンビアペソ	3.9%	3.9%
ロシアルーブル	3.7%	3.7%
ハンガリーフォリント	3.3%	3.3%
ガーナセディ	2.4%	0.0%
スウェーデンクローナ	2.3%	2.3%
アメリカドル	0.0%	0.0%

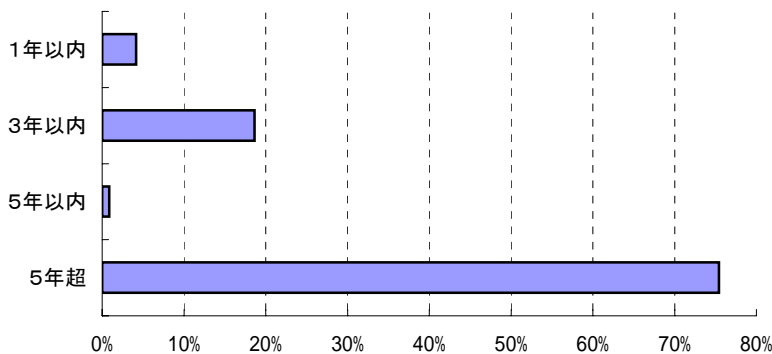
比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

< 格付別構成比 >

Aaa	99.1%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。
平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

< 残存別構成比 >



比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

< 公社債種別構成比 >

世界銀行債券	99.1%
うちグリーンボンド	71.8%
ソブリン債他	0.0%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、
国際機関債などです。

< ポートフォリオの特性値 >

最終利回り	5.78%
直接利回り	6.68%
デュレーション	3.95年
組入債券の銘柄数	31銘柄

利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。
最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

投資環境

<中南米>

【ブラジル】当月ブラジルレアルは対円で下落しました。ブラジル政府は、海外投資家に対する課税措置の緩和等、財政政策を緩和方向に転換し始めました。また、中央銀行の金利引き下げサイクルが終わりに近づいているのではないかと臆測も一部でできています。ブラジル経済の成長ペースは減速していますが、足元の雇用統計は非常に好調な内容になっています。

【メキシコ】当月、メキシコペソは対円で下落しました。メキシコの経済指標は総じて強弱入り交じった内容となっています。主要製造指数は上昇しており、経済活動が増加していることを示しています。しかし、消費者信頼感指数や鉱工業生産指数はいずれも低下しており、10月の小売売上高も市場予想よりも弱い結果となっています。

【コロンビア】当月のコロンビアペソは円に対して上昇しました。コロンビアの中央銀行は当月の政策金利を4.75%に据え置きました。経済統計によると、第3四半期GDPは前年同期比で予想を上回り、鉱業、石油、建設のセクターが牽引しています。

<アジア・オセアニア>

【オーストラリア】当月、オーストラリアドルは対円で上昇しました。RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を引き下げて4.25%にしています。オーストラリアの第3四半期のGDP（国内総生産）成長率は前年同期比2.5%まで加速しましたが、RBAは、欧州の債務問題の深刻化による世界経済の先行き見通しに懸念を示しており、また、コモディティ価格は現在ピークに達しており今後は下落基調に転じるものと想定しています。

【ニュージーランド】当月、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。中央銀行は政策金利を2.5%に据え置き、引き締めバイアスを維持しています。しかし、中央銀行の声明文の中では、将来の利上げに関する文章に「徐々に」という言葉を挿入して、再度、利上げに対する意図を和らげるような表現としています。他の多くの国の中央銀行と同様に世界経済の成長鈍化に対する懸念を踏まえて、ニュージーランドの中央銀行も利上げに対しては慎重な姿勢をとっています。

<欧州・中東>

【トルコ】当月、トルコリラは円をはじめ主要先進国通貨に対して下落しました。市場予想通り、トルコの中央銀行は政策金利を据え置きました。対外不均衡の是正が順調に進んでおり金融当局はますます自信を深めています。

【ノルウェー】欧州通貨が下落する流れを受けてノルウェークローネも対円で続落しました。コアインフレ率も極めて低水準で推移していることを踏まえて、ノルウェーの中央銀行は12月、大方の予想に反して政策金利を引き下げ1.75%としました。中央銀行は金融市場の混乱の拡大やユーロ圏諸国を中心として海外の経済成長がさらに鈍化する可能性があることと指摘しています。

【ロシア】国内の不透明な政治情勢の結果、当月のルーブルは円を含む大半の先進国通貨に対して大きく下落しました。ロシアでは下院の総選挙が実施されましたが、不正が発覚しました。3月の大統領選までは、急速に台頭する政治リスクが注目すべき重要な流れとなっています。これに伴い、資本の対外流出の可能性が高まり、今後のルーブルのボラティリティはさらに高くなるでしょう。

【ハンガリー】フォリントは大幅に下落しました。同国経済の先行きが不透明なことから、ここ数週間のフォリントの値動きは通常より大きくなっています。米格付け会社のS&P（スタンダード・アンド・プアーズ）もハンガリーの自国通貨建て債務格付けを引き下げました。中央銀行は政策金利を引き上げて7.0%にすることを決定し、リスク認識やインフレ見通しが今後大幅に悪化するような事態になれば近く追加利上げが必要となる可能性があることと述べています。

【スウェーデン】スウェーデンクローナは円に対して小幅に下落しました。中央銀行は2011年半ばまでは順当に利上げを実施してきましたが、今回成長見通しが悪化したことで、これまでの引き締め政策の転換を余儀なくされ、政策金利を0.25%引き下げて1.75%としました。購買担当者指数の急落によって景気の縮小が示唆されており、ここ数ヶ月間の消費者信頼感も大きく後退しています。

<アフリカ>

【南アフリカ】当月、南アフリカランドは対円、対ドルでともに上昇しました。当月発表された経済指標は全般的に市場予想より弱い結果となっています。GDP（国内総生産）成長率は、第3四半期では内需の低迷を反映したものでした。生産活動に関する経済指標も期待外れの結果となりました。

【ガーナ】当月ガーナセディは堅調となり、円に対して上昇しました。ガーナ中央銀行は、市場の大半が予想していた通り、政策金利を12.5%に据え置きました。経済成長関連の数値は上昇しており、インフレが勢いをつけていることから、利下げの可能性は殆どありませんでした。月初に2012年予算案が発表され、2012年12月の総選挙までに財政赤字を対GDP比で現行から引き下げることを目標にしました。IMFは、ガーナ政府のこの措置を税収拡大と構造改革への意欲として受け止め、ガーナに対する融資枠を引き上げることで同意しました。

運用概況

当月の基準価額は値下がりしました。通貨別に見ると、パフォーマンスが最も高かった3カ国は、南アフリカ、ガーナ、コロンビアでした。一方、パフォーマンスが最も低かった3カ国はトルコ、ハンガリー、ロシアでした。

今後の見通し

欧州に対する否定的な見方が継続し、欧州経済の景気後退りが盛んに議論される中で、金融市場にとっては12月も引き続き厳しい月となりましたが、重要な施策がECB（欧州中央銀行）によって打ち出されました。ECBは銀行向けに最長3年間の資金供給を実施し、適格担保の範囲を拡大しました。市場の主な焦点は、欧州経済が景気後退りした場合の深刻さの度合いと2012年の世界経済成長に対してどのような悪影響をもたらすかに移っており、この点については市場参加者の間でも大きく意見が分かれています。主要先進国では金融緩和政策が引き続き継続されることが明らかであり、政策金利が今後かなり長期間にわたって極めて低い水準に抑えられる可能性が高いものと思われます。12月、ECBは政策金利を0.25%引き下げて1%とし、また市場に潤沢な流動性を供給する措置も継続しています。また、2012年には英国で追加の量的緩和策の実施の可能性も取りざたされています。新興国市場での経済は妥当な水準の伸びを記録する一方で、先進国市場の経済は低成長にとどまるという世界経済の二層化は継続する可能性が高いと思われます。当ファンドでは、ファンダメンタルズが極めて魅力的で、名目・実質の利回りが非常に高いブラジルに対して今後も最大のウェイトを維持することを検討します。欧州域内では、欧州と中東をつなぐ重要な位置にあり、双方の堅調な経済成長から恩恵を受けるトルコに対して最大のポジションを設定しています。トルコは銀行システムが盤石であり、欧州危機からの逃避先にもなっています。先進国市場の中では、力強い成長力があり、商品輸出も活発なオーストラリアとノルウェーに対して最大のウェイトを置いています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興マネー・アカウント・ファンド

ファンドの概要

設定日 2010年2月19日

決算日 原則毎年10月20日

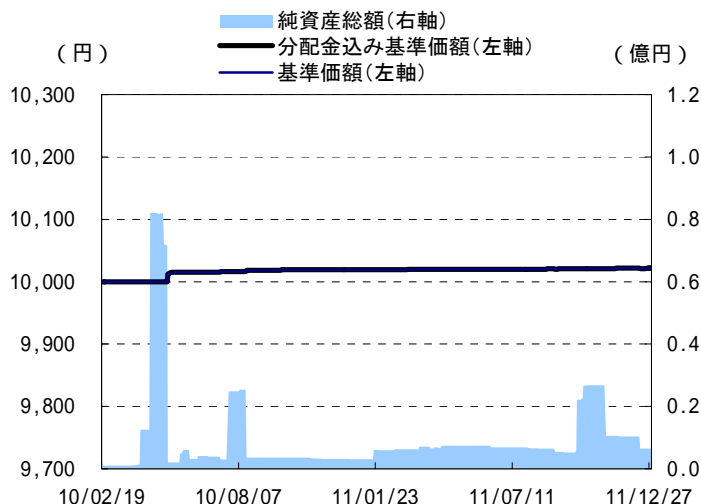
償還日 2019年10月21日

収益分配 決算日毎

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



基準価額 : 10,022円

純資産総額 : 0.06億円

< 基準価額の騰落率 >

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
0.00%	0.01%	0.02%	0.03%	-	0.22%

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金込み基準価額の推移は、分配金(税引前)を再投資したものを表示しています。
基準価額は、信託報酬(年率0.5775%(税抜0.55%)以内)控除後の値です。

< 資産構成比率 >

債券	12.7%
うち先物	0.0%
現金その他	87.3%

< 分配金実績(税引前) >

10・10・20	11・10・20			
0円	0円			

上記は過去のものであり、将来の収益分配を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 【S M B C・日興 世銀債ファンド】追加型投信/海外/債券
【日興マネー・アカウント・ファンド】追加型投信/国内/債券
- お申込単位 お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ただし、「日興マネー・アカウント・ファンド」は「S M B C・日興 世銀債ファンド」からのスイッチングの場合に限りません。
- お申込価額 お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。
くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
2019年10月21日まで（2010年2月19日設定）
- 信託期間 2019年10月21日まで（2010年2月19日設定）
- 決算日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】毎月20日（休業日の場合は翌営業日）。
【日興マネー・アカウント・ファンド】毎年10月20日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 【S M B C・日興 世銀債ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。
【日興マネー・アカウント・ファンド】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわない場合もあります。
- ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 【S M B C・日興 世銀債ファンド】換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。
くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- お申込手数料：【S M B C・日興 世銀債ファンド】お申込手数料率は3.15%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が定める率とします。
分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
【日興マネー・アカウント・ファンド】ありません。（「S M B C・日興 世銀債ファンド」からのスイッチングのみ）

換金手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

スイッチング手数料：ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

信託報酬：【S M B C・日興 世銀債ファンド】

純資産総額に対して年率1.255%（税抜1.21%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率〔年率0.945%（税抜0.90%）〕、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託

「WBグリーンファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率〔年率0.31%程度〕となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組比率などにより変動します。

くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【日興マネー・アカウント・ファンド】

純資産総額に対して年率0.5775%（税抜0.55%）以内の率を乗じて得た額となります。

その他費用：組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

当ファンドの手数料などの合計額については、お客さまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社

受託会社 住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

監督当局の認可等を前提として合併し、2012年4月1日付で三井住友信託銀行株式会社となる予定です。

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社

〔ホームページ〕<http://www.nikkoam.com/>

〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

<S M B C・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）>

・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

・したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。

・投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】
ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

<日興マネー・アカウント・ファンド>

- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ・したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。

- ・主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

くわしくは、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【価格変動リスク】

公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

（以下の流動性リスクは、「S M B C ・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）」のみに該当します。）

- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「S M B C ・日興 世銀債ファンド（愛称：世界銀行グリーンファンド）」および「日興マネー・アカウント・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、最新の投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：社団法人投資信託協会
 社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	社団法人 日本証券 投資顧問業 協会	社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号				
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号				